

特集 1F 事故の教訓と課題 II

- 2 自己決定力が求められる時代に必要な
ラストマン意識

浅野 哲

- 3 事故解決までの年月の重み直視を

荒木涼子

- 4 「安全神話」からの脱却と原子力
エネルギーの重要性

石村和彦

- 5 原子力事業者の安全性向上活動を
牽引していく

魚住弘人

- 6 東京電力による損害賠償は
政策課題として長期化する

遠藤典子

- 7 グレーデッドアプローチとリスク

岡本孝司

- 8 エネルギーセキュリティとカーボン
ニュートラルにおける原発の役割

柏木孝夫

- 9 その時何が起こったか、記録する
ことが大切だ

上 昌広

- 10 福島第一原子力発電所事故を経て
—私たちがこれから為すべきことは何か

小口正範

- 11 新しい食・農連携の仕組みを目指して

小山良太

- 12 福島原発事故 10 年検証委員会による
10 年目の検証

鈴木一人

- 13 物理と真理

関谷直也

- 14 原発、現実を直視し、新しい学問
体系を

高嶋哲夫

- 15 福島第一原子力発電所事故後の
復興への取組

千原由幸

- 16 1F 事故の教訓を活かした革新炉や
SMR の建設へ

奈良林直

- 17 原子力安全規制の空洞化と社会的
監視機構の脆弱性

長谷川公一

- 18 カーボンニュートラルからカーボン
ネガティブへ 大気中 CO₂ 除去への
原子力利用

堀 雅夫

- 19 まずは廃棄物処理処分の確実な計画
と実施を

松浦祥次郎

- 20 環境再生実証事業等における
合意形成と今後の課題

万福裕造

- 21 「変わらない日本」イメージを脱却し
未来志向へ

三浦瑠麗

- 22 環境問題で経験してきた「際」から
みた 1F 事故

森口祐一

- 23 象徴としての 1F を議論する必要性

吉川彰浩

- 24 福島第一原発の事実を“カミングアウト”
させよう—今、われわれが為すべきこと

吉野 実

25 原子力発電が必要な理由を説明しないメディア

山本隆三

解説

33 事故耐性燃料（ATF）開発状況（1） 原子力の安全性向上に資する技術開発 事業での事故耐性燃料の開発の概要

1 F 事故を契機に、事故耐性燃料（ATF）の実用化への関心が世界的に高まっている。ここでは国内の ATF 技術開発の概要を紹介する。

山下真一郎

38 事故耐性燃料（ATF）開発状況（2） 諸外国における事故耐性燃料の 開発状況の概要

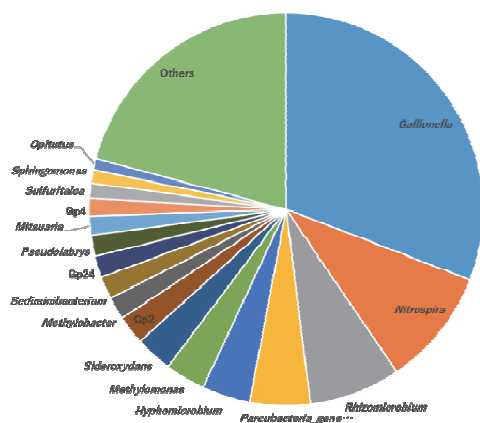
ここでは諸外国における ATF 技術開発の概要を紹介する。

山内景介 ほか

43 地下水中の微生物群と燃料デブリ 模擬物の反応に関する検討

福島県内で採取した土壌や地下水の遺伝子解析と培養試験を行った結果、鉄の酸化還元を中心に、低級炭化水素や硫黄の代謝を軸とした微生物叢が構築されていることが明らかとなった。

土津田雄馬，大貫敏彦



遺伝子解析の結果（細菌・古細菌）

理事会だより

59 支部活動の課題と今後の方向性

山岡聖典

27 NEWS

- 学会，春の年会を開催
- 海外ニュース ほか

FOCUS 原子力産業界における働き方改革（3）

48 三菱重工は社員一人ひとりが自律的に 働くことができる環境づくりを推進

三菱重工グループはダイバーシティ推進と働き方改革をめざして、人材育成や企業文化の醸成、女性活躍推進、障がい者雇用などの活動を行っている。

江本裕哉



MHI リーダーシッププログラムの様子

特別寄稿

52 原子燃料サイクル三点セット施設と 六ヶ所村立地までの道のり

青森県六ヶ所村は、原子燃料サイクル三施設が一地点に立地する世界に類のない地域だ。この地域の開発の歴史的経緯をたどる。

梶本晃章

57 Column

学ぶことの難しさ
「けしからん」者たちのいる平和
班目先生のこと
ジャーナリストはカタガキヤクザか

今泉友里
越智小枝
菅原慎悦
小出重幸

42 From Editors

- 60 会告 2023 年度新役員候補者募集のお知らせ
- 61 会報 原子力関係会議案内，寄贈本一覧，2023 年度会費ご納入のお願い，第 55 回（2022 年度）日本原子力会賞受賞一覧，各支部会賞受賞一覧，各支部支部賞受賞一覧，2022 年度 JNST 賞受賞一覧，2023 年度新規フェロー一覧，2022 年度（第 16 回）日本原子力学会フェロー賞受賞者一覧，2023 年度永年・シルバー会員一覧，英文論文誌（Vol.60, No.4）目次，主要会務，編集委員コラム，編集関係者一覧
- 74 Vol.65（2023），No.4 J-STAGE 閲覧
購読者番号・パスワード

特集 1F事故の教訓と課題 II



* 出典：東京電力ホールディングス 撮影者：西澤 丞

原子力学会誌では東京電力福島第一原子力発電所事故を経て、私たちがこれからすべきことは何か、そして私たちはこの事故の何を次世代に伝えるべきかをテーマに、多角的な視野から分析した特集を企画しています。

今号では前号に引き続き、原子力利用に批判的な立場の方も含めて、多くの方々に執筆を依頼しました。多様な意見がある中で、私たちはそれをどのように調整し、これからの社会をどのようにデザインしていくかが、問われているのではないかと考えます。(編集委員会)